

## 防災訓練等指導業務報告書

リーダー	ファシリテーター	ファシリテーター	ファシリテーター	ファシリテーター	事務局長	事務局

研修団体名	泉川校区まちづくり連合自治会			住所	新居浜市瀬戸町12-34	電話	41-6463
研修日時	令和6年01月28日 日曜日	10時00分～13時00分		研修対象者	泉川校区防災士会員、自治会員		
研修人数	36名						
研修場所	泉川公民館 大会議室			研修目的	地域の皆さんの安全・安心を確保するため、有事の際に即戦力となる体制作りを推進する		
講師	馬越 健	ファシリテーター	越智・菅(秀)	アドバイザー	川端・衣川・岡部・山田・菅(春)・後藤	協力者	泉川まちづくり連合自治会 3名

### 事前打合せ

日時	令和5年9月11日 月曜日	13時30分～15時30分	場所	泉川公民館
参加者 研修者	泉川校区 推進委員 菅 春樹		参加者 ネットワーク	事務局長 菅(秀)、推進委員 菅(春)

### 訓練等指導報告

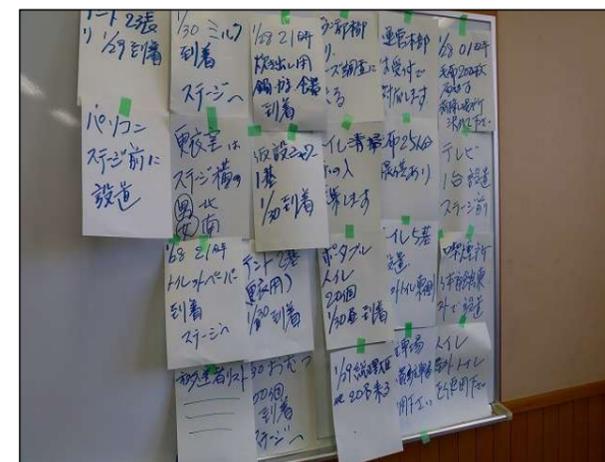
- ・ 今回の研修は、令和5年9月11日に実施予定だった研修の延期です。
- ・ HUG研修の感想
  - ・ 情報量が多く処理が難しい。取材に対応する人がいる。子供だけで避難している時は子供だけで集めたり、看護師の近くに集めてみた。イベントの優先順位決めが難しい。
  - ・ テレビ等で見る情報はごく一部で、実際にはもっと多くの事をやっていたらいいのだと思った。日頃から災害に備えて考え行動をしようと思いました。
  - ・ HUGに参加して、私は難しいと思いました。1人1人のニーズに合わせるの無理があるし、お手洗いの処理は絶対誰かがしなければいけないし、また情報量が多かったです。私は実際にお手洗いなどは「誰でもやるじゃん」という考えですが、1人1人の思いをできる限り尊重出来るように心がけたいと思います。自分にできる事を探しファーストベンギンになりたいと思いました。
  - ・ テレビのニュースを見ていて、軽くは想像はしていたけれど、シミュレーションの活動の中で自分が慌てていることが自分でもわかり落ち着いた判断が出来ませんでした。そして防災士の方から「あなたが本部なのだから、あなたが決めなければ」と言われ、とてもあせるとともに大きな責任を感じました。勉強になりました。けれど自分も心に大きな傷をかかえて運営に携われるか、その為にも日頃から心の持ち方が大きく左右するかも知れないと思いました。
  - ・ 避難所運営をする本部のメンバーが大きなカギになると思いました。避難者にも物資の運搬等をお願いすることもあるので、人をまとめる担当者も必要だと思いました。
  - ・ 難しいゲームだと感じました。でも、このゲームを何度かすればうまくできるだろうと思いました。日々イメージし考えるだけでも有事の際には役立つと感じました。
  - ・ 避難先にある備品がどれくらい、どのようなものがあるか知っておく必要がある。どんどん地域の訓練に参加する必要がある。  
想定外の対応をすると、あとの避難所の避難者の仕分けが大変である。病院治療が必要な人、足が不自由な人、というところの振り分けをしたけれど、なかなか難しいです。ペットを連れてこられるとどうか、っていうところで、ちょっと悩みがちなのですが、何とかして対応しました。地域から来る情報を察して食事だけが欲しいとか、荷物が来るとかというのを、皆さんに提示する方法を羅列してしまっただけで、何時に何が来て、どこでどうやって配布するかを明確にすればよかったと思いました。

#### ・ 泉川推進員寸評

参加者の中に、イベント情報はみんなが分かりやすくなければならぬ、との話があり、心強く思いました。それと避難所運営は大変との話がありましたが、避難所運営マニュアルのそれぞれの役割分担をしっかりと決める必要性を感じました。

### 発行番号No.

令和6年01月28日



#### ・ 講師寸評

泉川中学校の女性PTA会長(亀井さん)初め参加者の女性たちの活躍が際立ちました。泉川校区においては、毎年定期的に防災訓練を行い、地域の皆さんに方には避難所運営の必要性については理解していますし、各会員の意識は高いと思います。今後は、組織的にこまやかな活動が行われることを期待します。